2023/1/30

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向（1 月 23 日～1 月 27 日）

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,233.0	1,235.2	1,227.9	1,231.3	▲4.2
JPY/KRW	9.4577	9.5435	9.4424	9.4577	▲0.112
KOSPI	2,426.58	2,497.40	2,421.51	2,484.02	+88.76

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は概ね横這い。旧正月明けの 25 日は 1,233.0 でオープンすると、ドル/ウォンには市場参加者が十分戻らない中、実需を中心とした値動き。週を通じて外国人投資家による韓国株買いフローが入ることでウォン買い需要はある程度あった一方で、ドル/ウォンの下値への警戒感もあったことや、市場全体で大きなドル売りトレンドが見られなかったこともあり、ドル/ウォンは週の値幅が 7.3 ウォンとなる等ほとんど動意のない動きが継続した。26 日海外時間には予想比良好な米 4QGDP（結果：前期比年率 2.9%、予想：同 2.6%）等あり、市場全体でリスオンムードになると、ドル/ウォンも 1,227.9 まで下落するものの、それ以上の深追いはされず。結局、先週対比 4.2 ウォン下落した 1,231.3 ウォンにてクローズ。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)

* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)

今週の見通し

今週のドル/ウォンは週後半に下落する展開を予想する。週初は月末の実需のウォン買いが期待される一方で、ドル/ウォンの調整が十分進んだとの見方も強く、ドル/ウォンの底値は固いことが期待される。一方で週後半にあるFOMC（2/2未明）では、足許の米インフレ指標の鈍化を素直に好感し近い将来の利上げ停止を示唆することが予想されよう。先週にはカナダ中銀が利上げ停止を示唆したことから、市場ではFRBが同様の動きを取ることをある程度折り込んではいるものの、ハト派色の強い結果が出れば素直にドル/ウォンは下落しよう。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1215 ～ 1245	9.30 ～ 9.60	128.5 ～ 131.5

今後の予定

30日(月) 欧 1月 消費者信頼感指数 確報値
31日(火) 日 12月 鉱工業指数 速報値
日 12月 失業率
中 1月 製造業PMI
中 1月 非製造業PMI
米 1月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
欧 4Q GDP 速報値
1日(水) 欧 1月 製造業PMI 確報値
米 1月 製造業PMI 確報値
米 1月 ISM製造業景況指数
米 1月 ADP雇用統計
米 FOMC 政策金利発表
2日(木) 米 12月 製造業受注
韓 1月 CPI
欧 ECB 政策金利発表
3日(金) 欧 1月 サービス業PMI 確報値
米 1月 サービス業PMI 確報値
中 1月 総合PMI
中 1月 サービス業PMI
米 1月 非農業部門雇用者数
米 1月 失業率
米 1月 ISM非製造業景況指数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。